

# 人権弁護士 布施辰治

— 民衆と共に生きた人 —



ふせ たつじ  
布施辰治（1880～ 1953）は、社会の最も弱い立場におかれた人々——都市貧民や農村の小作人、治安維持法で苛酷に処断される人々、そして、植民地朝鮮の農民や独立の志士たち——の弁護活動に心血を注ぎました。彼は自分のためには、名誉も地位も利益も、何一つ求めませんでした。

布施の評価は、日本においてはまだ十分ではないが、韓国では2004年に、故・布施辰治に日本人初の「韓国建国勲章」を贈りました。

今、日本社会では排外的な風潮がますます強くなり、在日韓国・朝鮮人へのヘイトスピーチの酷さは、  
耳を覆うものがあります。このような時に、一貫して朝鮮との友好に尽くした布施辰治の生き方を知ることは、意味深いことだと思います。



1935年夏 岩手の入会山で馬上の布施辰治

期間：4月2日（水）  
～6月1日（日）  
入館料：400円  
（中高生 200円）



弁護士布施辰治 顕彰碑（石巻市蛇田 あけほの公園）

生きべくんば民衆とともに  
死すべくんば民衆のために



大韓民国より建国勲章を授与される。  
（2004年）